

物流 Weekly

ウィークリー

労務問題研修会 「働き方改革」を推進 河北支部

【大阪】大ト協河北支部(長澤年夫支部長)は17日、ニューオーサカホテルで「労務問題研修会」を開催。約80人が参加した。交付金事業委員長で副支部長の満仲幸一氏が標準運送約款改正について触れ、「待機料や荷役料、運賃の明確化で適正運賃収受を推進する動きになっている。届け出運賃の変更

届が必要だが、事務局に申し出ていただければ対応してくれる。今日の講習会を、人材確保や職場環境改善に役立ててほしい」とあいさつ。

講師には、三井住友海上火災保険の経営サポートセンターの山田晃司課長を招き、「運送業における『働き方改革』と『時間管理』対策」について講演。



山田課長は、働き方改革実現会議の検討事項や環境の変化と企業が求められる対応などについて解説した。

人材確保へ

河北支部は労務問題研修会終了後に、大阪人材確保推進会議や府総合労働事務所とタイアップし、「職場環境改善に向けたセミナー&個別相談」を開催。長澤支部長は「人材不足は全産業で問題になっている。これを受け人材確保推進会議が立ち上げられ運輸、製

造、建設の3業種に特化した雇用促進の検討とともに、各業界での様々な取り組みが展開されている。本セミナーは本部からの要請を受け、大阪では初の試みで今後、各支部への広がりを期待してい



「明日から始める人材確保・定着のための職場環境改善」をテーマに、トラック運送業界における人材の状況、トラックドライバーの求人・採用、人材活用による生産性向上などについて解説。また、パネラーとして山田製作所の山田茂社長と、つばめ急便の社長で同支部の石原修副支部長が自社の人材雇用や教育などについて紹介した。(中村優希)